

「2023年度SKY運動成果発表大会」

大会概要

2023年11月1日、四国ブロックにおける「SKY運動成果発表大会」を、“安全と創意工夫で明日へ飛躍しよう”のスローガンのもと、エクシオグループ(株)四国支店(香川県)をホスト会場に、四国通建(株)(愛媛県・高知県)、日本コムシス(株)四国支店(徳島県)および各社工事事務所等をリモート接続して開催しました(写真1)。



写真1 リモート開催模様

また、ご来賓として四国4県の(株)NTTフィールドテクノ設備部様には、各会場にてご参加いただき、四国ブロックの設備系関係者が集う貴重な場となりました。

開会挨拶

開催にあたり、情報通信エンジニアリング協会 四国支部 高木支部長(写真2)より、「コロナ禍を経験したということで、テレワークが浸透し、また、DX化の波が押し寄せている等、それらを支える情報通信の重要性はますます高まってきており、これまで以上に発注者のNTT西日本様、さらにはその先のお客様に安心・安全・信頼できるサービスを提供していくことが大事だと思っている。本大会で発表される優良事例については、しっかりと意見交換をしていただいて、各社で「まねっこ」をして、さらなる改善に取り組んでいただきたい。安全と改善は、「愚直に」「地道に」「徹底的に」取り組むことが大変重要だと思う。これを機に、さらに励んでいただければと期待している。」

との挨拶がありました。



写真2 ITEA四国支部 高木支部長 開会挨拶

来賓ご挨拶

(株)NTTフィールドテクノ愛媛設備部 加藤部長様(写真3)より、「日頃より通信設備の建設・保守、またソリューションビジネスをはじめ、成長分野へのご支援をいただきとても感謝している。



写真3 NTTフィールドテクノ 加藤部長様 来賓ご挨拶

2001年8月にフレッツ光が始まってから、四国全域に光設備を展開してきたが、一方、少子高齢化による労働力不足が問題視されており、膨大な通信設備をいかに少人数で守っていくかが我々にとって最大の課題となっている。

そのため、DXで抜本的に業務の効率化を図るという手段もあるが、やはり現場(オンサイト)においては、DXが効きにくい部分があると思う。そういった分野は皆様の日々の改善努力が本当に重要であり、現場の改善が大きな波となって、効果の大きい効率化や安全性が高められ

る取組みにしてほしい。」とのご挨拶をいただきました。

また、引き続き、(株)NTTフィールドテクノ サービスエンジニアリング部 吉田担当部長様(写真4)より、職場環境改善の取組みであるSHINING活動や、リモート支援ツール等によるリモート・オンサイト運営の効率化についてご紹介いただき、ICTツールの活用や業務プロセスの見直しなど、改善内容を改めて考え直す良い機会となりました。



写真4 NTTフィールドテクノ
吉田担当部長様 改善事例紹介

SKY運動成果発表大会

発表大会では、各社から選抜された代表4サークルによるテーマ発表が行われました。

最初に、四国通建(株)の発表テーマ『若手社員の早期スキルアップを目指して』は、施工作業を「育成教材」として動画に残すことで、若手社員の早期スキルアップに効果的に取り組んだ内容でした。

日本コムシス(株)の発表テーマ『「適正な旋回範囲測定具<吊れるんじゃー>」の開発』は、建柱・抜柱作業時等の旋回範囲を簡単に把握できるように、適正な旋回範囲測定具を開発したという内容でした。

四国通建(株)の発表テーマ『吊下げラック現地調査時の時間短縮』は、吊下げラック設置確認時の、脚立転落リスクの軽減と現地調査の短縮等を図るために測定ツールを設計・作成したという内容でした。

表1 発表テーマ一覧

No	発表テーマ	発表会社名	サークル名
1	若手社員の早期スキルアップを目指して	四国通建株式会社	松山一般
2	「適正な旋回範囲測定具<吊れるんじゃー>の開発」	日本コムシス株式会社	あなん
3	吊下げラック現地調査時の時間短縮	四国通建株式会社	ヴロワール・セ・ブヴォワール
4	天井裏における調査・通線作業の効率化	エクシオグループ株式会社	EXEO PRIDE

最後に、エクシオグループ(株)の発表テーマ『天井裏における調査・通線作業の効率化』は、ビル調査・開通工事等でお客様建物内天井裏の状況確認や配線作業箇所の作業環境が悪いためドローンを活用し、安全作業・事故回避を図ったという内容でした(表1)。

全体講評

発表終了後、四国通建(株) 越智NTT事業本部長(写真5)による全体講評が行われ、「世の中でさまざまな技術や製品が出てきており、それをうまく活用して作業の効率化や安全の確保、品質の向上を図ることが求められている。今回の発表は、効果的な若手社員の育成や、現場作業の危険回避をしたことにより、効率化も実現できたという優良事例だったと思う。

ぜひ各社のよいところを持ち帰って展開し、四国の設備の構築・保守が少しでも効率的になるように頑

張って取り組んでいきましょう。」との講評がありました。

記念品授与・優良安全工事表彰

全体講評終了後、各会場においてSKY発表4サークルの代表者に「記念品」が授与されました。

「優良安全工事」表彰は、安全に配慮し、施工プロセス・品質が優れ、他の模範とするに相応しい工事を表彰するものであり、今回選ばれた4工事の代表者(表2)に「表彰状」ならびに「記念品」が授与されました(写真6～9)。



写真6 表彰集合写真
四国通建(株) 愛媛会場



写真7 表彰集合写真
四国通建(株) 高知会場



写真5 全体講評
四国通建(株) 越智本部長

表2 優良工事表彰一覧表

No	優良安全工事表彰工事名	会社名	部門（代表者）
1	愛媛総2021-1503電気通信設備工事Ⅰ 大洲（肱川橋）支障移転工程	四国通建株式会社	NTT事業本部 アクセス部基盤担当 （平岡 力）
2	香川エリアサービス総合工事	エクシオグループ株式会社	NTT事業部門 アクセスエンジニアリング担当 （帯包 学）
3	徳島総22-A0603電気通信設備工事	日本コムシス株式会社	NTT事業本部 四国事業部門 （福本 雅之）
4	高知総2020-7501電気通信設備工事Ⅰ	四国通建株式会社	NTT事業本部 アクセス部 （豊田 忠司）



写真8 表彰者集合写真
エクシオグループ(株) 香川会場



写真9 表彰者集合写真
日本コムシス(株) 徳島会場

SKYスローガン唱和

表彰式終了後、日本コムシス(株) 四国支店 柴崎駿一さんの発声により四国支部のSKYスローガン「安全と創意工夫で明日へ飛躍しよう」の唱和が行われ閉会しました(写真10)。



写真10 SKYスローガン唱和
日本コムシス(株)四国支店 柴崎社員

「2023四国安全大会 in 愛媛」

大会概要

2023年11月9日、四国安全大会in 愛媛を“過去の事故を教訓に類似事故を絶対に起こしません！”のスローガンのもと、NTTフィールドテクノ様とITEA四国支部とで開催し、今回が21回目となります。当日はNTTグループ各社様とITEA四国支部会員会社から約350名が参加しました。

開会挨拶

開催にあたり、大会主催者と協賛各社を代表して西日本電信電話(株) 四国支店 立石支店長様より開会のご挨拶をいただきました(写真11)。



写真11 立石支店長様 ご挨拶

「今年も多くの自然災害がおきた年でした。特に台風6号により沖縄エリアを中心に通信サービスに大きな被害を受けました。四国からも現地支援に多くの方に行っていただき、現地の期待に応え、早期の復旧とお客様のご不便の解消に大きな貢献をいただきました。広域支援に参加した皆さん、その間職場を支えていただいた皆さんに感謝を申し上げます。今年は幸い死亡事故は発生していませんが、5件の人身事故が西日本エリアで発生しており、そのうち1件は四国で発生した第三者加害の事故です。いずれの事故も基本動作の不徹底、安全感度の低さが要因になっています。本日は事故事例の実演、昨年度大会のアンケート結果を踏まえた体験コーナー等、中身を充実したものがご用意できています。取るべき基本動作の確認、安全意識の向上として、皆さんにとって有意義な時間としていただければと思います。皆さんとかけがえのない仲間が事故にあわない、事故を起こさないということを祈念いたしまして私からのご挨拶とさせていただきます。」

0（ゼロ）災唱和

安全意識の向上に向けた「0（ゼロ）災唱和」が参加者全員で行われました(写真12)。



写真12 0（ゼロ）災唱和

実演

実演①電柱強度の違い（電柱折り曲げ）

健全な電柱と鉄筋の破断した不良電柱を曲げ、強度の違いを確認した（写真13）。



写真13 電柱の折り曲げ

実演②電柱折損の衝撃（不良柱への昇柱）

昇柱時に不良電柱が折損し、作業者が宙づりになった事象を再現し、作業の危険性、作業への衝撃を確認した（写真14）。



写真14 電柱の折損

実演③伐採時の危険性（正しい伐採方法）

山間部等でケーブルと樹木が接触している場面を再現。チェーンソー

使用時の注意点、危険箇所について確認した（写真15）。



写真15 伐採作業

実演④穴建車の傾き（定格荷重超過）

今年度発生した事故を受けて、クレーン作業で定格加重を超えてクレーンのブームを延伸した時に、穴建車が浮き上がる事象を再現し、正しい使用方法を解説した（写真16）。



写真16 穴建車の傾き

実演⑤バケット車の傾き（地盤不養生）

軟弱地盤上にジャッキを設置した際、地盤が陥没して車体が傾き、バケットが大きく揺れる状態を再現した（写真17）。



写真17 バケット車の傾き

実演⑥第三者事故（不良設備）

引き込み線垂れ下がりによる第三

者事故を再現し、設備110番投稿の意識向上を図った（写真18）。



写真18 第三者事故

体験

体験①狭い道路での運転体験

模擬設備で狭い道を再現し、死角を理解し運転意識／技能の向上を図った（写真19）。



写真19 運転体験

体験②VRによる危険体感

VR技術を活用し、現場作業のリアルな危険を体感し、安全意識の向上を図った。

体験③フルハーネス吊り上げ体感

墜落制止用器具を着用し、万一、墜落した場合の人体への負担を体感した（写真20）。



写真20 フルハーネス吊り上げ体感

体験④漏電箇所発見体験

設備の模型を用いて検電の必要性和検電実施箇所を再確認した(写真21)。



写真21 漏電箇所発見体験

体験⑤落下物による衝撃体験

体験⑥脚立からの滑り/傾き体験

体験⑦天井裏素材の踏み抜き体験

体験⑧ひとまる君の効果体験

体験⑨二重床の滑り体験

展示

- ・設備110番
- ・NWカメラによる見守り
- ・三段梯子補助ツール

閉会式

閉会式では、ITEA四国支部を代表して四国通建(株) 常務取締役 越智NTT事業本部長より閉会の挨拶がありました(写真22)。



写真22 越智本部長 閉会挨拶

「今日、我々は参加したメンバーとして安全がすごく重要であると思っています。高度経済成長時代は労働災害で亡くられる方が6千人超えでしたが、2015年には1千人を切りましたが、6分の1にはなりませんが、ご家族や当事者にしてみれば1対1の関係です。ぜひ、今日感じた危険、安全の大事さを1対1の関係で、職場の皆さんに伝えていただきたい。そうすることが四国全体

で事故を発生させず、安心安全なサービスを提供できる、地元に貢献できることに結びつくのだと思います。」

最後に来年度主催(徳島県)のNTT西日本グループ代表社員と、ITEA四国支部代表社員の発声による「統一安全スローガン唱和」を行い、無事閉会しました(写真23)。



写真23 統一安全スローガン唱和

あしがき

参加された皆さまが、学ばれたことを現場へ持ち帰り、安全活動のリーダーとしてご活躍されることを期待しております。

基本動作の徹底よし! 今日も一日ご安全に!